

# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成19年 3月 8日 作成  
平成20年 7月17日 更新

BOX No.338111

車両情報

ホンダ クロスロード

平成19年2月～

RT#系

1/2ページ

ES-89Light

Type N.L.

Opt.

## ① 注意事項：イモビライザー付き車

・エンジンイモビライザー付き車には、エンジンスターターの取り付けはできません。

## ① 運転席側カバー類の外し方

- ① ロアカバー（センター側まで一体）を外す。
  - ・先に、ヒューズBOXの小物入れを外す。
  - ・ネジは、右上（ヒューズBOX上側）に1本、センター側の灰皿を外した上側に2本、灰皿の奥に1本あり。
- ② コラムカバーを外す。（復元時の作業手順注意）
  - ・下側からのネジ3本を外してから、下側コラムカバーを外す。…上側コラムカバー左右の奥が、下側コラムカバーのフックに差し込まれているので、破損しないように注意する。
  - ・上側のカバーを外す。…ホーンの配線を接続する場合のみ。
  - ・復元時は、上側コラムカバー左右の奥（凸部）を下側コラムカバーのフックに差し込んでから、上下のカバーを合わせる。…凸部をフックに差し込まないと浮きが出ます。
- ③ 右サイドステップのカバーを外す。
- ④ 右サイドカバーを外す。（プラスチックのロック2箇所）

## A/T車設定が必要な行①のみ

（A/T車設定作業について）  
配線・受信機取り付け終了後、  
下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

## 配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色

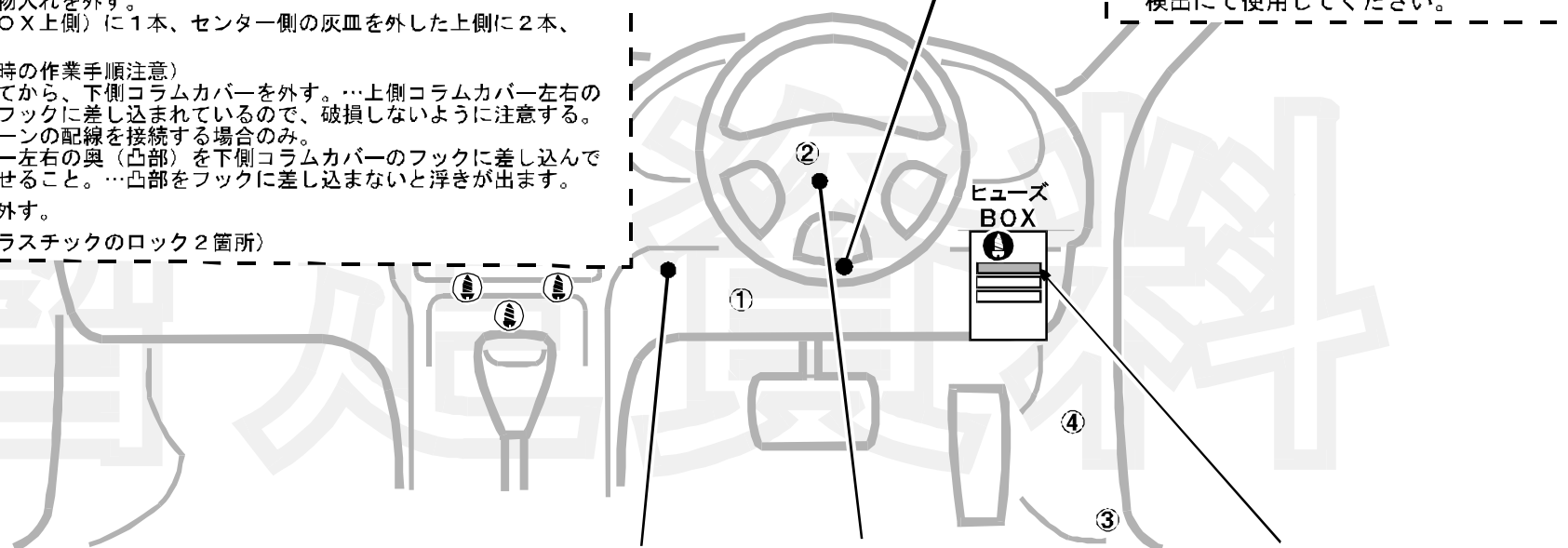
止めネジ等  
ナット ビス 隠れビス

コラムカバー内下側  
キーシリンダ直付け

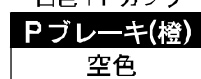


① ドアロック/アンロックの取り付け、及び全てのドアの開閉検出を行う場合のドア検出接続方法については、2/2ページを参照してください。

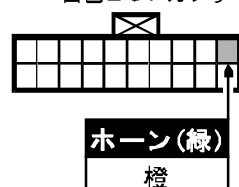
① CN2のL端子（茶）は、室内に接続場所が無いため配線はせずに、オート検出にて使用してください。



足踏み式パーキングブレーキ  
スイッチ根元  
白色1Pカプラ



コラムカバー内上側  
白色20Pカプラ



① 機能付き機種のみ配線

ヒューズ  
BOX

ヒューズBOX内  
下から3番目の  
薄緑色42Pカプラ

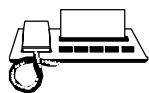


運転席ドア(紫)  
緑

① 運転席ドアの開閉のみ検出。

① この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車ででの見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

CIRCUIT DESIGN, INC.



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成19年 3月 8日 作成  
平成20年 7月17日 更新

BOX No.338111

車両情報

ホンダ クロスロード

平成19年2月~

RT#系

2 / 2 ページ

ES-89Light

Type

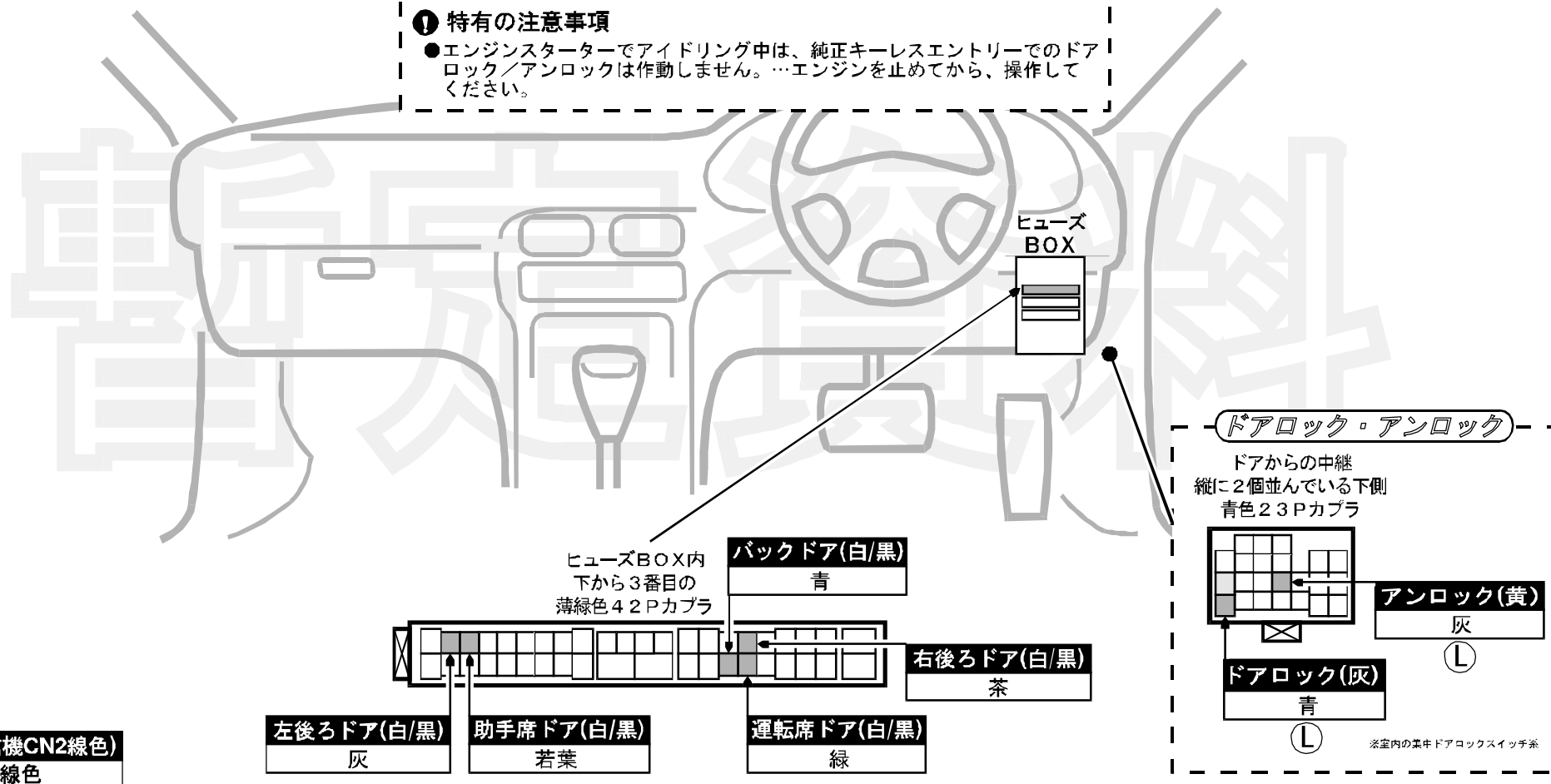
N.L.

Opt.

❶ セキュリティ機能を使用する場合等に、全てのドアの開閉検出を行う場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（商品コード：EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の5箇所に分岐接続してください。

❶ 特有の注意事項

- エンジンスターターでアイドリング中は、純正キーレスエントリーでのドアロック/アンロックは作動しません。…エンジンを止めてから、操作してください。



配線内容(受信機CN2線色)  
車両配線色

❶ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車ででの見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

CIRCUIT DESIGN, INC.

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

## ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。

専用ハーネス
H116
VH116

(例)



❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

## ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

### ES-89ProLight II の盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。